資料１

那珂市の未来を描く
ナカナカいぃ未来アイデアワークショップ

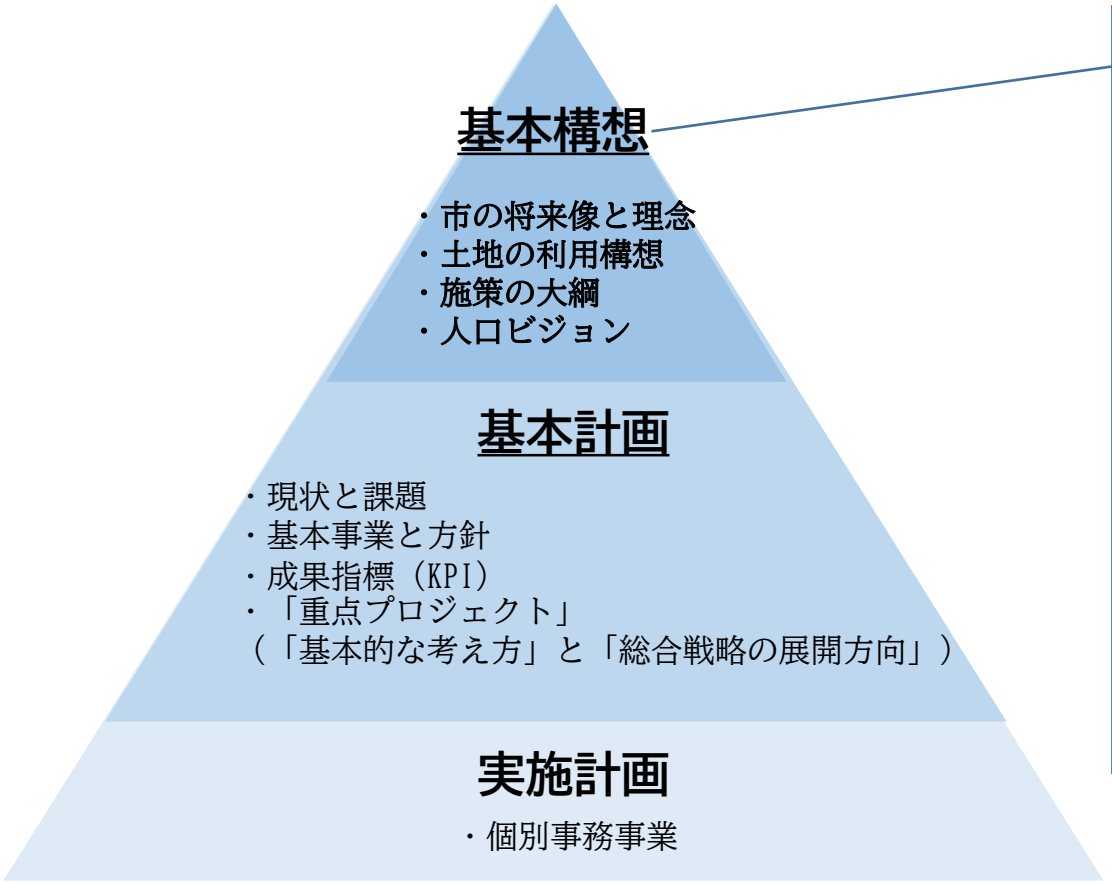
～第3次那珂市総合計画策定に向けた市民ワークショップ～



１．市民ワークショップの概要

1．市民ワークショップの目的と位置づけ

■ 本ワークショップで得られた結果（市民の生活実感や生の声）は基本構想における市の将来像や施策の大綱（一部は基本計画）に反映していく方針です。



1．基本構想の期間
・20年（2028～2047年）

2．市の将来像＝市の最上位指針
・策定にあたり、ワークショップで挙がったキーワードの活用を検討

3．施策の大綱
・市の将来像を実現するための**基本目標**
・**「人」「住みよさ」「にぎわい」**をキーワードに**3つの施策の大綱**を設定する方針
・施策の大綱の説明文などで、ワークショップで挙がった意見やキーワードの活用を検討

２．本ワークショップの開催概要

- ワークショップは2026年7～9月で、計3回開催しました。
- 18歳以上の無作為抽出した市民3,000名に参加案内を通知し、応募者多数の中から30代から80代まで幅広い年代の市民約30名が参加しました。

回数	開催時期	テーマ
第1回	2026年7月5日（日） 13：30～16：00	那珂市の現在のまちづくりや 市の魅力と課題について考えよう
第2回	2026年8月2日（日） 13：30～16：00	未来の理想の「いぃ那珂暮らし」や 自分の姿を考えよう
第3回	2026年9月6日（日） 13：30～16：00	「いぃ那珂暮らし」の理想を 膨らませて必要なことを考えよう

２．第１回

那珂市の現在のまちづくりや
市の魅力と課題について考えよう

（２０２６年７月５日開催）

１．実施内容

１．メインテーマ

・　那珂市の現在のまちづくりや、市の魅力と課題について考えよう

２．プログラム

（１）【説明・個人ワーク】

総合計画の概要と那珂市の現状／アンケート結果に隠れた本音を考えよう

（２）【グループワーク①】

那珂市の良いところ

（３）【グループワーク②】

那珂市の改善したいところ

2．ワークショップの様子









３．実施結果：那珂市の「特によいところ」（強み）

■　交通アクセスの良さや災害の少なさ、豊かな農業と温かいコミュニティが本市の大きな強みとして挙げられました。

１．広域的な交通アクセスと好立地

・　那珂ICや高速バスにより都心へのアクセスが良く、水戸・ひたちなか等の商業圏にも近い便利な立地。

２．災害が少なく平坦で安心な住環境

・　地震や水害などの自然災害が非常に少なく、平坦な土地で安心して暮らせる。

３．恵まれた農業環境と新鮮な食

・　美味しい野菜を育てる環境に恵まれ、市内の直売所で新鮮な農作物や特産品が手軽に入手できる。

４．温かい人柄と手厚い地域ボランティア

・　住民同士が話しやすく、高齢者の地域活動や通学路での子ども見守りなど温かい助け合いが根付いている。

５．「ハート型」の地形

・　那珂市の形が綺麗な「ハート型」をしており、茨城のど真ん中（どまん那珂）とともにアピールできる。

３．実施結果：那珂市の「改善したいところ」（課題）

■　公共交通や医療・子育て環境、インフラ整備や行政・地域課題などで改善意見が挙げられました。

１．車を持たない人に対する公共交通の不足

・　バス・タクシーが少なく自家用車がないと移動が困難で、JR水郡線駅からの二次交通やSuica対応も不十分。

２．医療・出産・子育て環境の不足

・　市内に産婦人科や総合病院がなく、周辺自治体に比べて保育料が負担。

３．多世代が集える娯楽・交流スポットの不足

・　休日にお出かけできるおしゃれなカフェや若者・子どもが集える施設が不足。

４．インフラ整備の地域格差と安全性の不安

・　狭い道路や街灯の少なさ、歩道の傷み、道路脇の草刈りの遅れなど、中心部以外の安全対策が必要。

５．PR力の弱さと地域資源の未活用

・　「那珂市といえばこれ」という名産や農産物の魅力の外部へのアピール不足

６．空き家問題と行政・地域コミュニティの仕組み

・　空き家・耕作放棄地への対策や、ゴミ収集・自治会・商工会支援などの見直しが必要

３．第２回

未来の理想の「いぃ那珂暮らし」や
自分の姿を考えよう

（２０２６年８月２日開催）

１．実施内容

１．メインテーマ

未来の理想の「いぃ那珂暮らし」や自分の姿を考えよう

２．プログラム

（１）【導入ワーク】

10年後・20年後も「変わらないでほしいこと」「変わってほしいこと」

（２）【個人ワーク】

「未来の那珂市（誇れる姿・楽しい未来・あってほしい場所・サービス）」の想像

（３）【グループワーク】

「AI未来新聞をつくろう！」

参加者が各自で付箋に書き出した「未来の那珂市の出来事や姿」を生成AIに入力し、思わずワクワクする新聞の見出しを自動作成。その中から特に惹かれた見出しを班で3つ厳選し、選んだ理由やPRポイントを書き加えて模造紙に紙面化しました。

2．ワークショップの様子









3．実施結果：変わらないでほしいこと・変わってほしいこと

■ 変わらないでほしいこと

- 豊かな自然環境・田園風景・静かな住環境（白鳥の飛来・カエルの合唱等）。
- 美味しい野菜が作れる農業環境と手軽に買える直売所。
- 人の温かさ・あいさつができる関係、地域のお祭りやイベント。
- 身近で大切な移動手段としての「JR水郡線」の存続

■ 変わってほしいこと

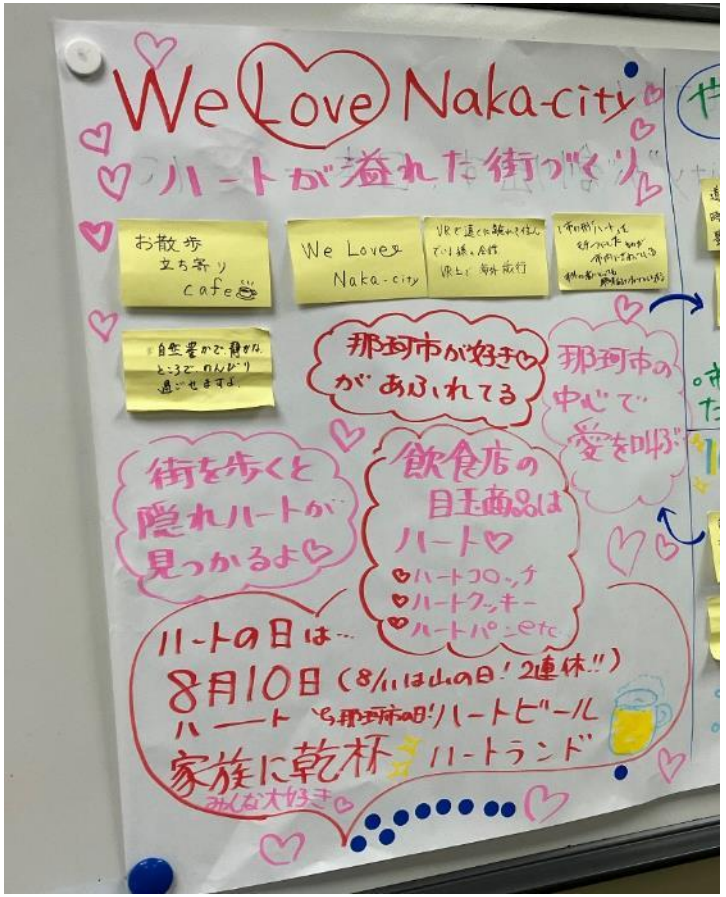
- 車がなくても移動できる公共交通網（デマンド交通・乗合タクシー等）の拡充と水郡線の利便性向上（Suica対応）。
- 歩道・街灯の整備（夜道の暗さ解消）や道路脇の草刈り・排水対策。
- 保育料軽減・子育て支援の充実や、多世代・子ども・若者が気軽に集えるカフェ・公園等の居場所づくり。
- 菅谷地区への一極集中解消や、市の魅力・情報発信力の強化。

３．実施結果：ＡＩ未来新聞～共感を集めた見出し（投票結果ベスト３）

○　**第３位：３班**

「We Love Naka-city ～ハートが溢れた街づくり～」

・那珂市の「ハート型」の地形を活かし、街中に隠れハートスポットやハート型グルメを展開。8月10日を「ハートの日（那珂市の日）」として家族や地域で愛を確かめ合うまちづくり。

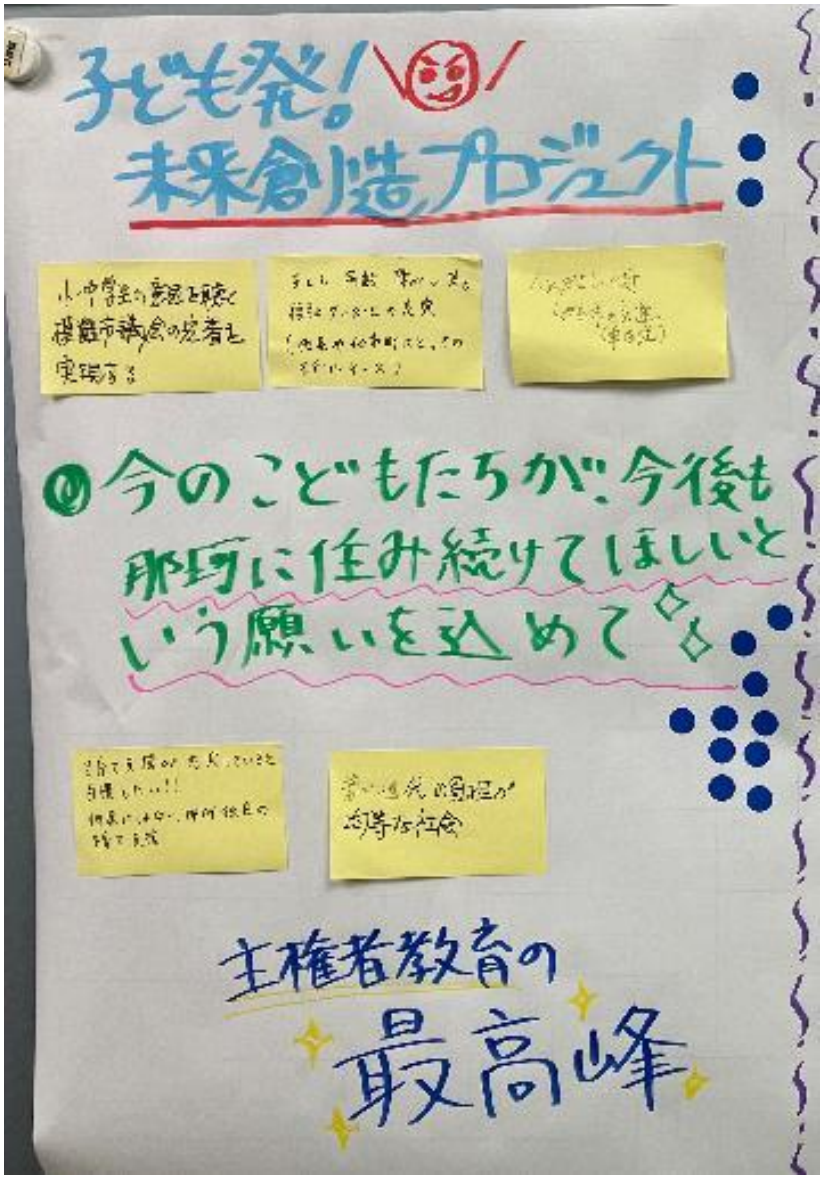


３．実施結果：ＡＩ未来新聞～共感を集めた見出し（投票結果ベスト３）

○　**第２位：１班**

「子ども発！未来創造プロジェクト」

・小中学生の意見を市政に反映させる子ども模擬議会の開催など、子どもたちの声でまちを良くし、子どもが一番輝く教育・子育て環境を実現する取り組み

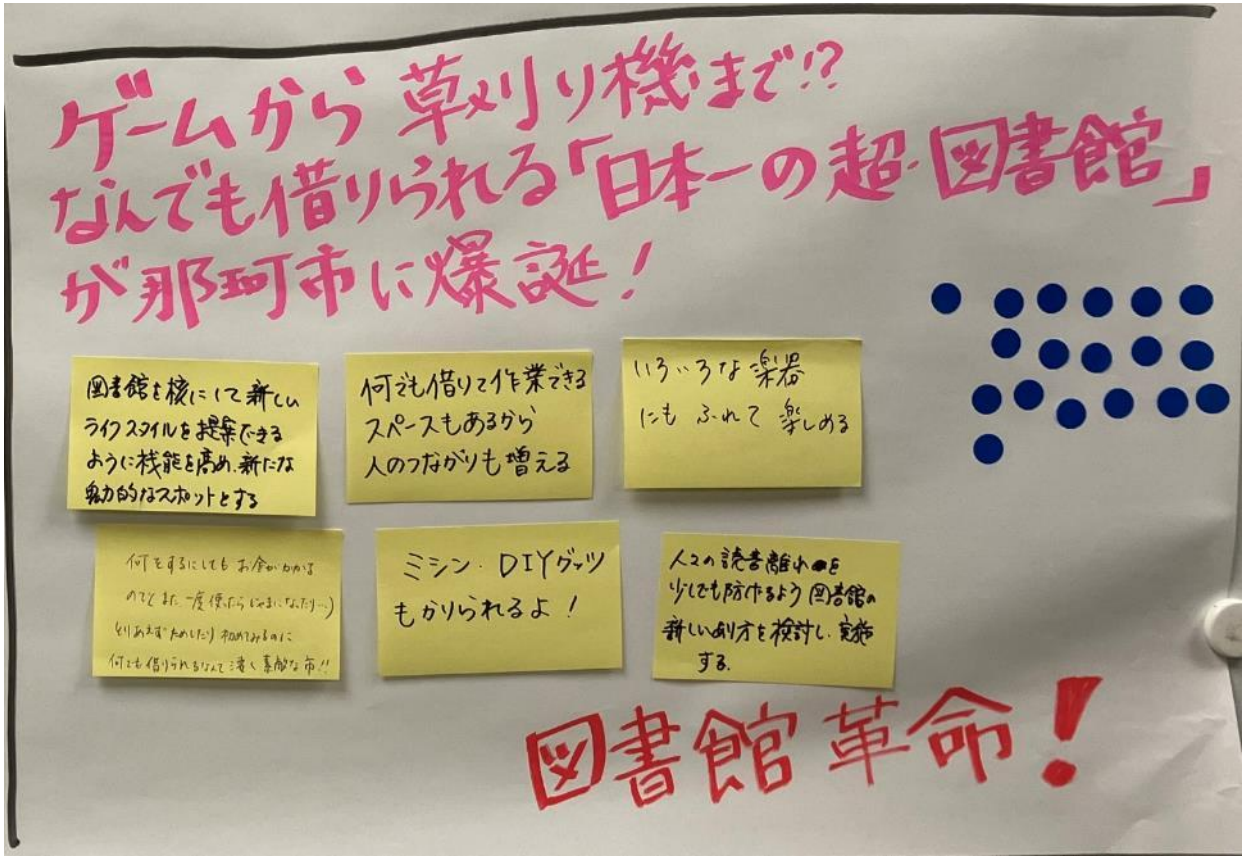


３．実施結果：ＡＩ未来新聞～共感を集めた見出し（投票結果ベスト３）

○　**第１位：４班**

「ゲームから草刈機まで!?なんでも借りられる「日本一の超・図書館」が那珂市に爆誕！」

・図書館の枠を超え、楽器・DIY工具・草刈機・ボードゲームなどが何でも借りられ、多世代が集う体験・交流拠点（図書館革命）。



３．実施結果：ＡＩ未来新聞～各グループが作成したＡＩ未来新聞

■　１班

○　子ども発！未来創造プロジェクト (投票第2位)

・**ワクワクした理由**:小中学生や子どもたちの意見を直接聴く「模擬子ども市議会」などを開催し、子ども目線でまちづくりを行い、将来も那珂市に住み続けたいと思えるまちにする。

・**PRポイント**:「子どもが輝くまち・主権者教育の最高峰」

○　世代を超えた大交流空間「那珂カフェ」

・**ワクワクした理由**:市役所・図書館・公民館などの公共施設や農園にカフェを設置。麻雀やボードゲームなどを通じて、高齢者から子どもまで気軽に集まり交流できる場を作る。

・**PRポイント**:「世代を超えて誰もが気軽に集えるコミュニティ空間」

○　ホタルの舞と秋の虫の音がBGM

・**ワクワクした理由**:那珂市の最大の強みである自然の豊かさを、10年後・20年後もそのまま守り・受け継いでいく。

・**PRポイント**:「豊かな自然と生きものが共生する癒やしの環境」

３．実施結果：ＡＩ未来新聞～各グループが作成したＡＩ未来新聞

■　２班

○　**地域の老若男女が熱狂する四季折々のイベントが充実！世界的人気アニメの聖地としてインバウンド観光客の人気も爆発**

・**ワクワクした理由**:世代問わず楽しめる料理フェスやアニメ聖地化により、国内外から人が集まり、進学・就職で市外に出た若い世代も「この日は実家に帰ろう」と思える魅力的なイベントを創出する。

・**PRポイント**:「皆さんの集う場と雇用を支えます！」

○　**スマホ一つで完全無人タクシー・乗り合いバスで移動ゼロ！・移動販売車と24時間対応の万能相談窓口で悩みゼロ！市民の安心と笑顔でいぃ那珂ぐらし**

・**ワクワクした理由**:運転ができなくなった高齢者や移動弱者のために、完全自動運転タクシーや買い物を届ける移動販売車、AIによる24時間何でも相談窓口を導入する。

・**PRポイント**:「みなさんの体と心支えます！」

○　**「観たい食べたい行きたい」すべてが叶う街！「究極の野菜」でおいしい食卓をお約束**

・**ワクワクした理由**:様々な要素が組み合わさり、住民自身が「毎日が楽しい」と実感できる。最高の野菜も作られている地産地消のグルメシティとなる。

・**PRポイント**:「みなさんの胃袋支えます！」

３．実施結果：ＡＩ未来新聞～各グループが作成したＡＩ未来新聞

■　３班

○　We Love ～ハートが溢れた街づくり～ (投票第3位)

・**ワクワクした理由**:ハート型の地形を活かし、街歩きで隠れハートを探したり、飲食店でハート型のコロッケやパンを販売。8月10日（ハートの日＝那珂市の日）には家族で乾杯するイベントを実施する。

・**PRポイント**:「ハートでつながる、愛と笑顔があふれる街」

○　やりたいが見つかる道の駅

・**ワクワクした理由**:道の駅や交流施設にミニラジオ局（情報ステーション）を開設。市民の交流・情報発信だけでなく、災害時には地域密着の防災ラジオとして機能させる。

・**PRポイント**:「歴史も学べて楽しく安心な市民のたまり場」

○　100歳でも安心☆快適！がんばっぺ！

・**ワクワクした理由**:VR技術を活用して自宅や施設にいながら海外旅行体験ができる仕組みや、クリーンエネルギーによる快適な住環境で、高齢になっても健康に暮らし続けられる。

・**PRポイント**:「最新技術でいつまでも元気に動ける住みやすさ抜群の街」

３．実施結果：ＡＩ未来新聞～各グループが作成したＡＩ未来新聞

■　４班

○　**ゲームから草刈機まで!?なんでも借りられる「日本一の超・図書館」が那珂市に爆誕！(投票第1位)**

・**ワクワクした理由:**図書館で本だけでなく、楽器、ミシン、DIY工具、草刈機、ボードゲームなどを貸出。初心者や趣味を楽しみたい人が集まり、自然と会話が生まれる体験型交流拠点にする。

・**PRポイント:**「図書館革命！学びと体験・交流が集まる日本一の拠点」

○　**那珂市に住めばあれもこれもタダ！？充実する無料サービスで若者と子育て世代の移住がトップクラスに**

・**ワクワクした理由:**市民限定で公共施設の利用や子ども医療費などを無料・優遇化。「那珂市に住むだけで得をする」環境を整え、若者や子育て世代の移住を強力に後押しする。

・**PRポイント:**「住むなら那珂市が一番！」

○　**那珂マラソンに全国からランナー集結！笠松ウォーキングと同時開催で一大スポーツフェスへ！**

・**ワクワクした理由:**全国的なスポーツイベントが数多く開催されるスポーツの町であり、県立那珂高校は甲子園に出場する。

・**PRポイント:**「スポーツの聖地NAKA」

３．実施結果：ＡＩ未来新聞～各グループが作成したＡＩ未来新聞

■　５班

○　**若者におもねる町！ハートの町があなたを抱きしめる ～第二の実家は那珂市に～**

・**ワクワクした理由:**初めての子育てでも絶対孤立させない地域サポート体制（シニアサポーター）や、若者向け支援住宅、起業支援の場を設置し、若者が安心して飛び込める「第二の実家」にする。

・**PRポイント:**「手厚い支援で誰も孤立させない、温かい抱擁の街」

○　**那珂市の新常識！お節介で温かい近所同士の助け合いが「那珂よしポイント」になる!?**

・**ワクワクした理由:**昭和のような人の温かい助け合いや地域活動への参加をデジタル地域の「那珂よしポイント」として可視化・還元。市民全員が街の主役になれる仕組みを作る。

・**PRポイント:**「最新デジタル×人の温かさ！おせっかいが誇りになる街」

○　**草刈りロボットが行き交う町―掃！愛称は「ココロンバ」**

・**ワクワクした理由:**市民の悩みである道路脇や空き地の雑草問題を、AI搭載自動草刈りロボット「ココロンバ」（ひまわりオイル燃料）が解決。歩道や自転車道が安全で綺麗に保たれる。

・**PRポイント:**「道路問題もすっきり解決！クリーン＆スマートな街づくり」

３．実施結果：ＡＩ未来新聞～各グループが作成したＡＩ未来新聞

■　６班

○　**連日満員御礼！道の駅なかに人・人・人 那珂市の新たな顔が完成**

・**ワクワクした理由:**新設される道の駅に人気カフェ（スタバ、コメダ等）や日本一綺麗なトイレ、イベント広場を整備。買い物や食事だけでなく、近所の友人やお客さんが集まる地域一番の交流拠点にする。

・**PRポイント:**「人と人、賑わいをつなぐ那珂市の新しい顔」

○　**緑あふれる那珂市 世代を超えて人が集う活力あるまちへ大変貌**

・**ワクワクした理由:**豊かな自然、バランスの取れた農業・産業、充実したまちづくり委員会が一体となり、子どもからお年寄りまでが集って活気あふれるベッドタウンを形成する。

・**PRポイント:**「他の市町村にも誇れる、活力と緑あふれる住みよい街」

○　**車がなくても大丈夫！那珂市の公共交通網の整備でストレスフリーな移動を実現**

・**ワクワクした理由:**自家用車に頼らなくても、市内をスムーズに移動できる新交通網（モノレールや周回バス等）を整備し、高齢者も一人で安心して移動・外出できるようにする。

・**PRポイント:**「移動の不安をゼロにするストレスフリーな街」

４．第３回

「いい那珂暮らし」の理想を膨らませて
必要なことを考えよう

（２０２６年９月６日開催）

１．実施内容

１．メインテーマ

「いい那珂暮らし」の理想を膨らませて必要なことを考えよう

２．プログラム

（１）【導入ワーク】

那珂市をプロモーションするキャッチコピーを考えよう

（２）【個人ワーク】

「未来の那珂市で過ごす理想の1日（朝・昼・夕～夜）」の想像

（３）【グループワーク】

「未来の那珂市の理想の1日」を膨らませよう（ストーリー化とタイトルの作成）

2．ワークショップの様子









３．実施結果：那珂市をプロモーションするキャッチコピーを考えよう

■　「良いところがたくさんあるのにアピールが控えめ」という課題を受け、「那珂市の地形（ハート型）」「県内の立地（茨城のど真ん中・どまん那珂）」などを活かしてキャッチコピーを県つしました。

１班　みんな参加の仲良しの那珂

２班　茨城のど真ん中　幸せのど真ん中

３班　We Love Naka City

４班　田舎と都会のワクワク那珂

５班　ハートの真ん那珂

６班　どまんナカハート♡♡

３．実施結果：「未来の那珂市の理想の1日」を膨らませよう（投票結果）

■　１位：１班

○　市民参加型の農業（農家）

・朝は本業前のサブワークとして一般市民が収穫やパック詰め作業等に気軽に参加し、日常の中に農業が溶け込む。昼は農機レンタルや選果AI、住民ボランティアで作業負荷を減らし、夜は害獣除けを兼ねて畑の中で賑やかに宴会を楽しむ。

■　１位：3班

○　We Love Naka ハートポイントラリー

・アプリやスタンプカードを手に散歩し、ハート型モチーフのパンやグルメの試食、フォトスポット投稿で「ハートポイント」を獲得。古民家カフェや全天候型遊び場を巡り、貯まったポイントで夜の食事を楽しむ。

■　１位：5班

○　【怠惰な日】全自動で手厚く労われる1日

・動きたくない日や動けない日は、自動朝食レシピ・食材調理・お掃除ロボット・睡眠装置にすべて任せて無理なく自愛・休息。

３．実施結果：「未来の那珂市の理想の1日」を膨らませよう

■　１班：市民参加型農業・子ども・シニアの助け合いの1日

○　市民参加型の農業（農家）

・朝は本業前のサブワークとして一般市民が収穫やパック詰め作業等に気軽に参加し、日常の中に農業が溶け込む。昼は農機レンタルや選果AI、住民ボランティアで作業負荷を減らし、夜は害獣除けを兼ねて畑の中で賑やかに宴会を楽しむ。

○　社会で守る子供とくらし（子ども・子育て）

・周回バスでの通学や「あいさつロード」での声かけで朝から安心。AI活用で宿題はすべて学校内で完了させて家庭へ持ち帰らず、夕方以降は公園で自由に遊び、夜は家族で楽しく団らんする。

○　技術とマンパワーを活かした生活（大人・高齢者）

・AIロボットの見守りやサポートのもとで子どもたちの登校見守りや散歩を行う。昼はリモートワークや直売所での買い出しをし、夜は進化させた代行サービスや24時間利用バスで出かけ、地場野菜とお酒を楽しむ。

３．実施結果：「未来の那珂市の理想の1日」を膨らませよう

■　２班：4つの世代（子ども・子育て・働く人・シニア）の理想の1日

○　子どもの安心な1日

・見守りロボットや地域の人々に見守られながら集団登校。学校にはグランドやプール等のスポーツ設備が日替わりで移動・到来し、夜は歩行者を優しく照らして異常を通報するAIドローンにより安全に過ごす。

○　パパ・ママのゆとりある1日 ワークライフバランス

・ゴミ分別や家事の自動化で忙しい朝にゆとりを確保。急な預かり制度の拡充やカフェ併設の図書館での仕事・息抜き、AIによる献立提案・調理支援を活用し、毎日の夕食準備を楽にして子どもとの対話時間を創出する。

○　身体も心も健康にする1日

・暑さ・寒さやその日の体調に応じた快適な散歩ルートをAIが提案。昼は多世代交流サロンでお菓子を持ち寄っておしゃべりを楽しんで心の健康を保ち、夜は予約制銭湯の大きなお風呂でのんびりリラックスする。

３．実施結果：「未来の那珂市の理想の1日」を膨らませよう

■　３班：人間らしさの追求・地域巡り・先進学習の日常

○　We Love Naka にんげんっていいなー

・市の防災ラジオから流れる「いいなか体操」と朝採り野菜の収穫で健康的にスタート。昼は大大人も子どもも夢中になれる体験型プレイパークやかまど炊き出しランチを楽しみ、夜はデジタルデトックスとして焚き火を囲んで星空を眺める。

○　We Love Naka ハートポイントラリー

・アプリやスタンプカードを手に散歩し、ハート型モチーフのパンやグルメの試食、フォトスポット投稿で「ハートポイント」を獲得。古民家カフェや全天候型遊び場を巡り、貯まったポイントで夜の食事を楽しむ。

○　なか市でせのび

・AI先生との英会話やARモーニングヨガで朝を迎え、学校という箱を飛び出して探求学習へ出向く。デマンド交通やバーチャル公民館を活用し、夜はVR宇宙旅行や遠方の孫とのテレビ電話を楽しむ

３．実施結果：「未来の那珂市の理想の1日」を膨らませよう

■　４班：テクノロジーによるアシスト・自由な学びと暮らし

○　AIがたすける家族のくらし

・VRで世界の人と会話しながら朝食をとり、AIが休日のおすすめスケジュールを自動組み立て。憩いの場の移動販売や多機能な図書館でヨガ・瞑想を楽しみ、帰宅するとテーブルに夕食が完成している生活を送る。

○　大人の新しい暮らし

・心地よいBGMの防災無線で起床し、完全自動化スマート農業で効率的に仕事。大型ドローンでの空中散歩や行先を指示してくれる自動運転自転車を活用し、夜はお酒を飲んでも無料タクシーで何時でも安全に帰宅する。

○　子どもの暮らしにも自由を！！

・身軽な荷物でガードされた安全な歩道を通って登校。校内カフェや学び・遊び・体験が1か所に揃う複合施設で自由に過ごし、夜は自家製のお酒（酒税なし）を味わいながら公民館で日替わり映画鑑賞を楽しむ。

３．実施結果：「未来の那珂市の理想の1日」を膨らませよう

■　５班：コンディションに合わせた自動化＆アクティブな1日

○　【怠惰な日】全自動で手厚く労われる1日

・動きたくない日や動けない日は、自動朝食レシピ・食材調理・お掃除ロボット・睡眠装置にすべて任せて無理なく自愛・休息。

○　【日常】テクノロジーで安全・快適な1日

・体調に合わせた自動調理器やドローン配達を活用し、ペットと通える複合施設で健康的に滞在。夜道は全街灯が人感センサーLEDで点灯する明るく安全な街を帰宅。

○　【アクティブ日】ボランティアと「那珂良しポイント」の1日

・朝の登校見守りや草むしりに参加して「那珂良しポイント」を獲得。昼は自家発電を兼ねて運動し、夜は貯めたポイントで晩酌や夕食を楽しむ。

３．実施結果：「未来の那珂市の理想の1日」を膨らませよう

■　６班：移動革命・オンラインヘルスケア・夢あふれる暮らし

○　デパーチャー

・オンデマンドタクシーや空飛ぶ車、きっぷレス公共交通で移動ストレスをゼロに。綺麗な道での朝ジョギングや小学生の地域体験授業を経て、夜は「オーロラ睡眠体験」で素晴らしい夢を見て快適に目覚める。

○　ヘルスケア

・パーソナルヘルスデータを管理する喫茶店でモーニング。病院へ行かず自宅でのスマホオンライン診察やドローン無人移動販売・薬配達を活用し、防災ラジオ兼用のテレビ電話でかんたんに市へ相談できる安心生活を送る。

○　ドリーム

・道自体が動く「動く遊歩道」で快適に景色散歩。そば打ち教室や歴史講座に参加して自分手作りの料理を味わい、夜は「りんねの湯」で疲労回復してオンデマンドタクシーで帰宅する。

５．市民の声を踏まえた将来像の検討

１．将来像を検討する上でのキーワード

○　【人】子育て・学び・福祉・健康

・　ぬくもり/温かさ/えがお/ 助け合い/那珂良し（なかよし）/探求/体験

○　【住みよさ】安全・交通・生活基盤・環境

・　スマート/テクノロジー/ゆとり/快適/安心/フリー/自然

○　【にぎわい】農業・産業・観光・広域交流

・　ワクワク/楽しい/集い（つどい）/出会い/彩り（いろどり）/多世代

○　【特徴】那珂市らしさ

・　地形がハート形/茨城県のど真ん中（どまん那珂）

○　【共通する概念】

・　ハート/Love/幸せ/つながり/交流

２．市民の声を踏まえた将来像と取り組みの視点（１）

■　キーワード「人」（子育て・学び・福祉・健康）

○　枠にとらわれない学びと体験

・学校という空間に限定されず、自然・体験施設・地域資源を活かした探求型の学びや、多様なスポーツ・文化に触れられる環境を求める声。

○　子育てのゆとりと多様な選択肢

・昭和のような人のAIやデジタルの活用による学習・家事サポート、預け先や過ごし方の選択肢拡充による親子の時間・ゆとりの確保

○　多世代交流とゆるやかな支え合い

・子ども食堂や多世代交流サロン、日常的な挨拶・見守り活動を通じて、高齢者から子どもまで孤立せずに関われる場への期待。

２．市民の声を踏まえた将来像と取り組みの視点（２）

■　キーワード「住みよさ」（安全・交通・生活基盤・環境）

○　**先進技術による防犯・防災の安心感**

・夜間の明るい歩道環境や、AI・ドローン等を活用した緊急通報・見守り体制へのニーズ。

○　**スムーズで安全な移動手段**

・子どもの通学や高齢者の通院・買い物における、デマンド交通・自動運転モビリティ・公共交通の利便性向上。

○　**テクノロジーを活用した快適な暮らし**

・ゴミ分別の自動化、オンライン行政手続き・相談など、日々の生活負担を減らすスマートライフの推進。

２．市民の声を踏まえた将来像と取り組みの視点（３）

■　**キーワード「にぎわい」（農業・産業・観光・広域交流）**

○　持続可能な農業振興

・AIやロボットの導入で負担を減らした農業や、副業・ボランティアとして日常的に農作業に関われる仕組みへの期待。

○　地元の魅力を楽しめる場と体験

・地元食材を活かした食文化、古民家カフェ、体験型イベントやデジタルデトックス空間など、身近でワクワクできる集いの場へのニーズ。

○　参加したくなる地域活性化の仕組み

・散歩や見守り、イベント参加やSNS発信等によってポイントが貯まり、買い物や食事に使える循環システムの要望。

３．将来、市民自身が能動的に取り組みたいコト

○　農業・生産活動への参加

・本業に従事しながらも収穫、パック詰め、収穫した野菜の調理など、みんなで農業に携わっていきたいという声。

○　見守り・地域活動への参加

・AIやロボットなどの発達により便利な世の中になった中でも、登校の見守り、草刈りなど、自ら地域環境を整えるボランティア活動に参加していきたいという声。

○　自発的な学び・活動

・体験教室やサークル活動への参加など、個々の特技や趣味の活動を通じて自身の生活を充実させていきたいという声。

○　場づくり・交流の創出

・空き家古民家をセルフカフェに利活用など、皆で集まれる場を自主的に運営・利用していきたいという声。